次男坊鴉（1955）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 76分
初公開日 1955/01/29

【解説】
「花の白虎隊」の八尋不二による脚本を「銭形平次捕物控　幽霊大名」の弘津三男が監督。撮影は「山椒大夫」の宮川和夫が担当した。市川雷蔵が旗本の次男に生まれながらやくざの世界に身を投じた主人公を演じた股旅もの。
古河宿の親分・七五郎の家にわらじを脱いだ旅鴉の礼三は、親分の一人娘であるお静に慕われていた。しかし彼女には巳之助という許嫁がいる上に、礼三は三千石の旗本の次男だった。礼三は自ら身を退いて旅に出るが、その間に落ち目になった七五郎一家が土手の甚三に縄張りを奪われたあげく、反抗した巳之助が殺害されてしまう。一家の窮地に駆けつけお静を救った礼三だったが、父と兄の急死したため家を継ぐことになり、江戸へ帰ることになった。

【クレジット】
監督 弘津三男
製作 酒井箴
企画 浅井昭三郎
脚本 八尋不二
撮影 宮川一夫
美術 中村能久
音楽 渡辺浦人
出演 市川雷蔵
瑳峨三智子
伊井友三郎
香川良介
荒木忍
上田寛
南條新太郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.